

第3回 吹田市バリアフリー推進協議会

アンケート調査結果

実施概要

実施期間 : 令和 6 (2024)年 5月 1日 ~ 6月15日

配布数 : 1,794票

対象者	配布数	配布方法
一般 (18歳以上の市民から無作為抽出)	995票	郵送
一般 (Web)	—	ホームページ公表
障がい者団体	168票	手渡し 又はメール等
高齢クラブ	520票	
乳幼児のいる保護者	111票	
配布合計	1,794票	—

回収数 : 767票 (郵送 : 693票 WEB : 74票)

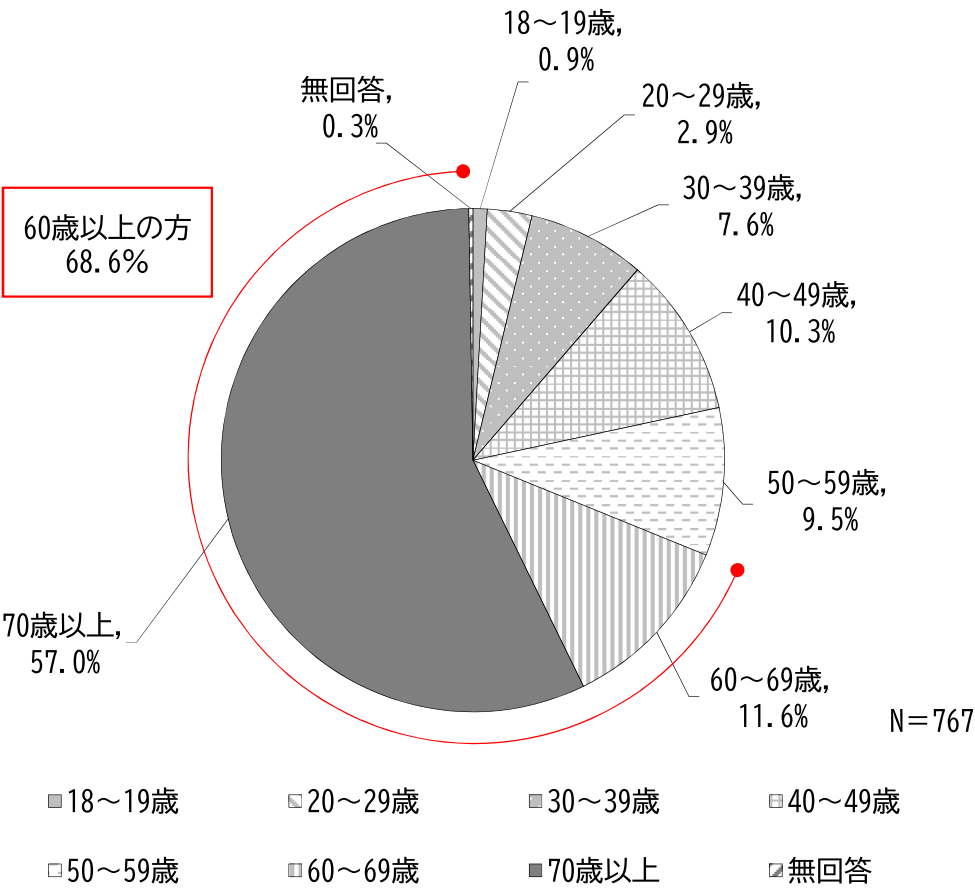
実施概要

質問項目：

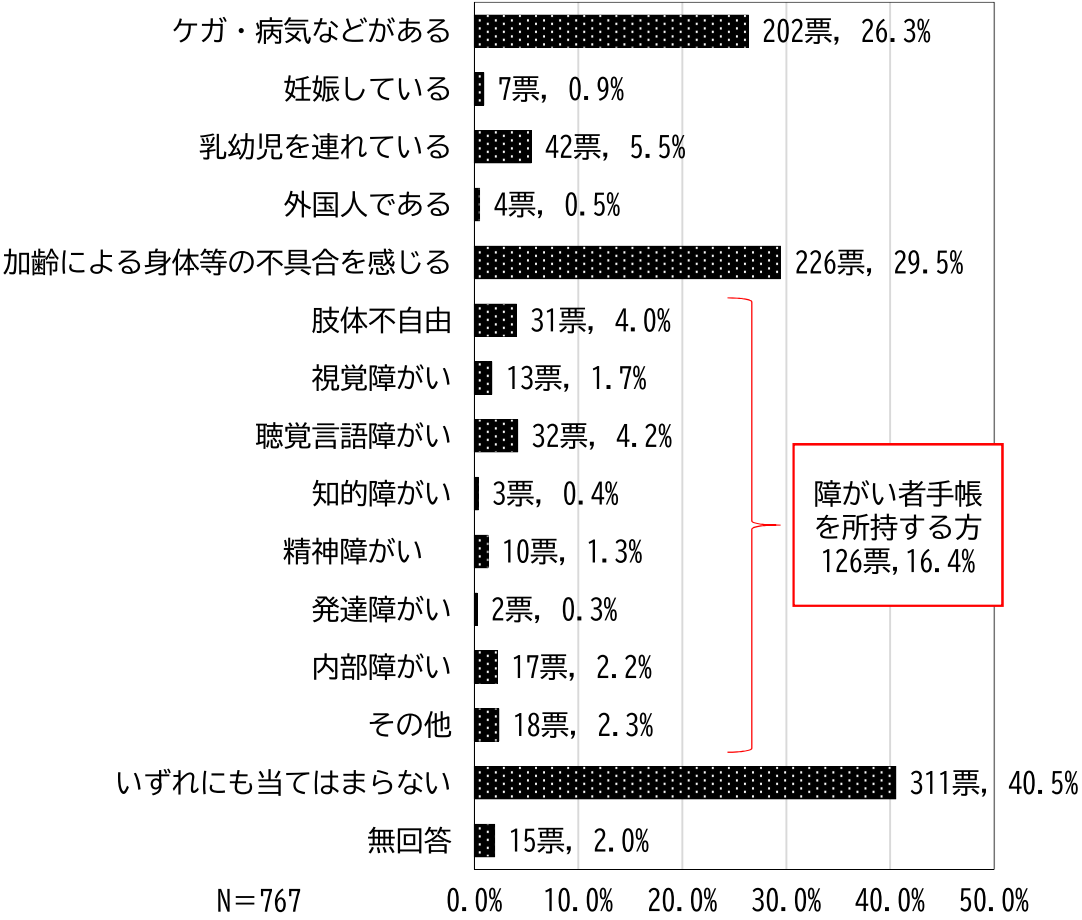
区分	質問番号	質問内容
回答者属性	問1	・年齢
	問2	・回答者の状況（障がいの有無等）
	問3	・利用する公共交通機関
外出する際のお困りごと	問4	・鉄道・モノレール駅、道路、その他の施設等における困りごと・気づき
バリアフリー情報の収集	問5	・バリアフリー情報の収集方法
心のバリアフリー	問6	・バリアフリーに関する用語の認知度
	問7	・困っている方を見かけた時の行動
	問8	・困っている方を見かけた時に手助けしない理由
	問9	・心のバリアフリーの推進に必要なと思う取組
バリアフリー化の進捗・推進	問10	・バリアフリー状況の満足度
	問11	・バリアフリー施策に関するご意見、ご提案（自由回答）

回答者属性

問1【年代】

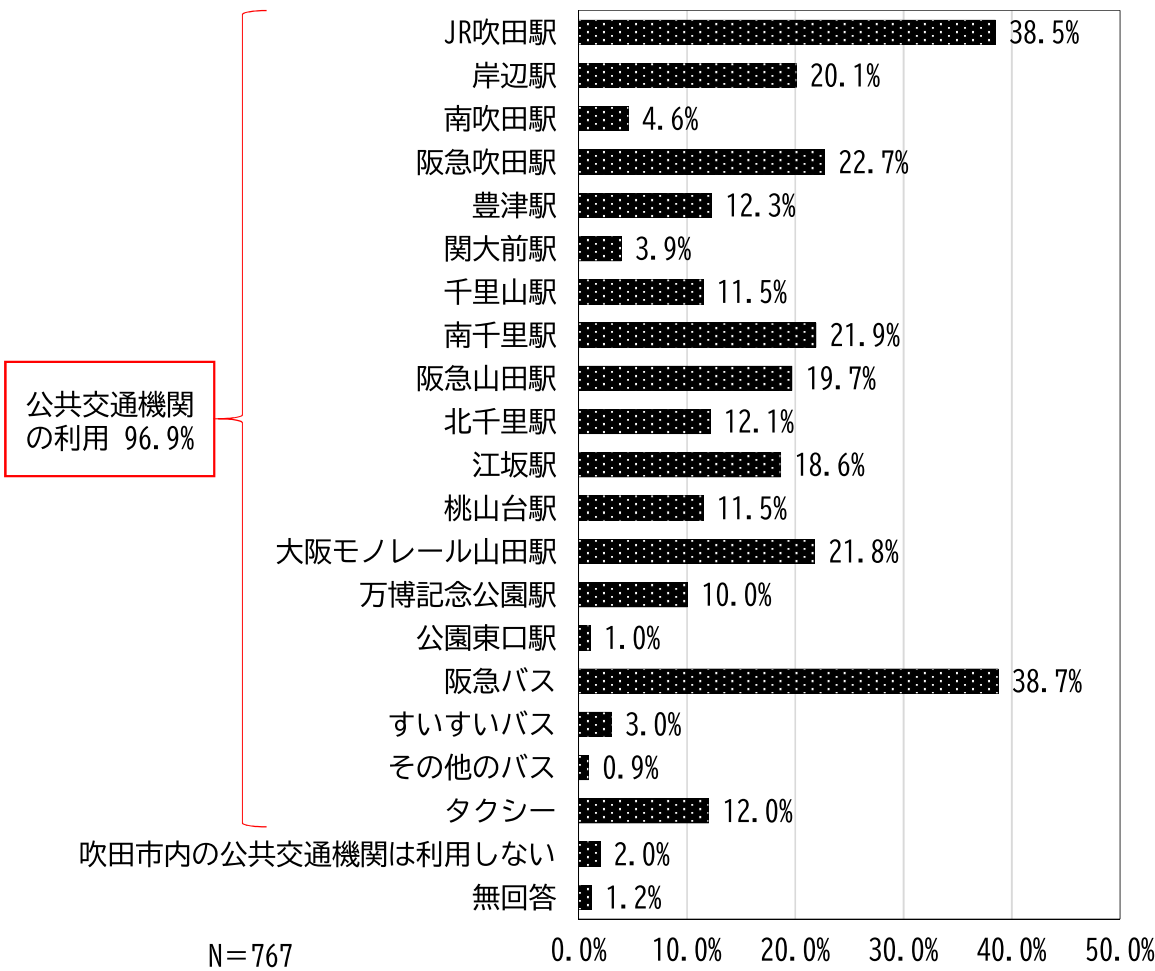


問2【回答者の状況】



回答者属性

問3【利用する公共交通機関】

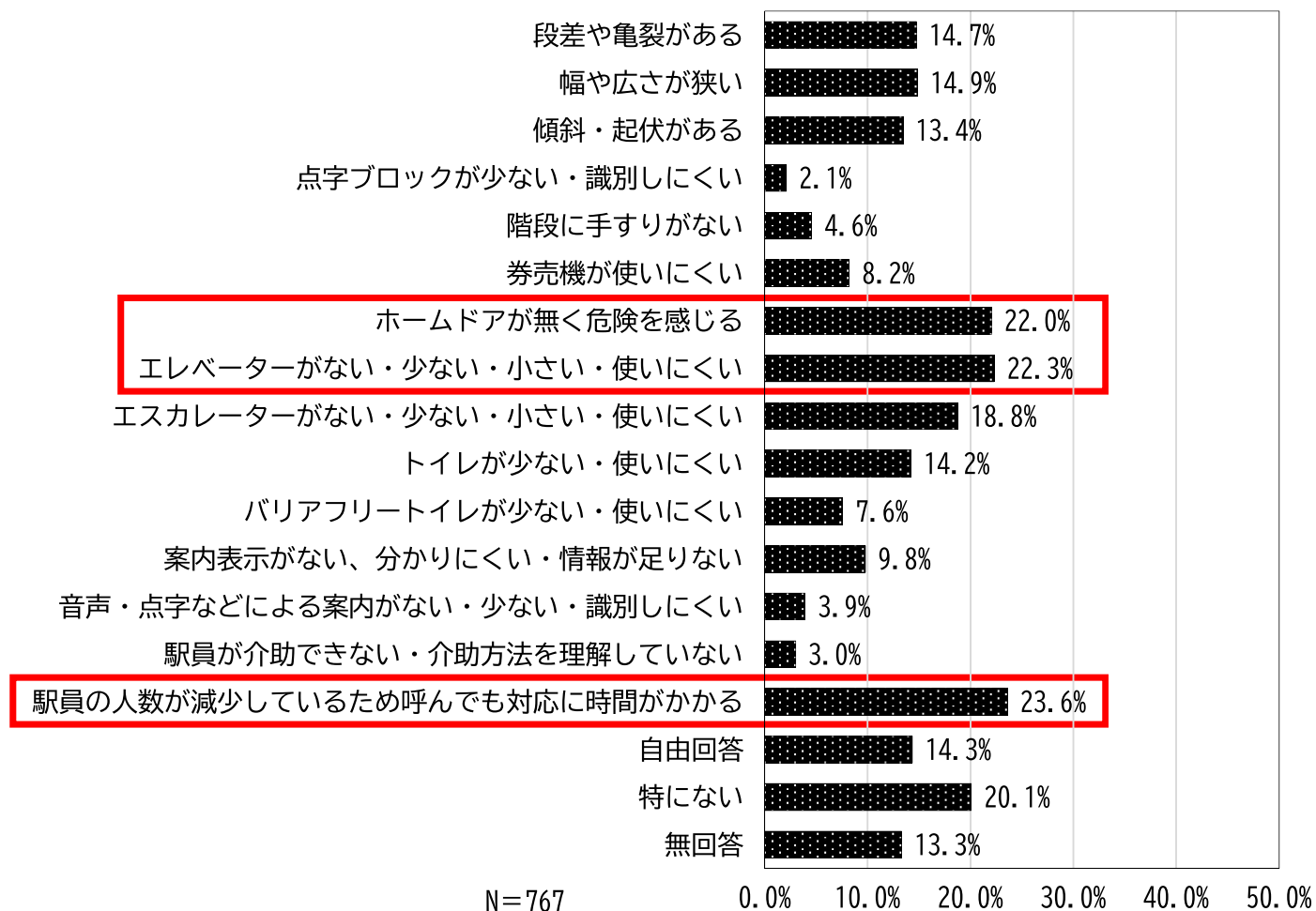


市内の公共交通機関を利用されている方は全体の96.9%となっています。

利用する公共交通機関は「阪急バス」が最も多く、次いで「JR吹田駅」、「阪急吹田駅」が多くなっています。

外出する際のお困りごとについて

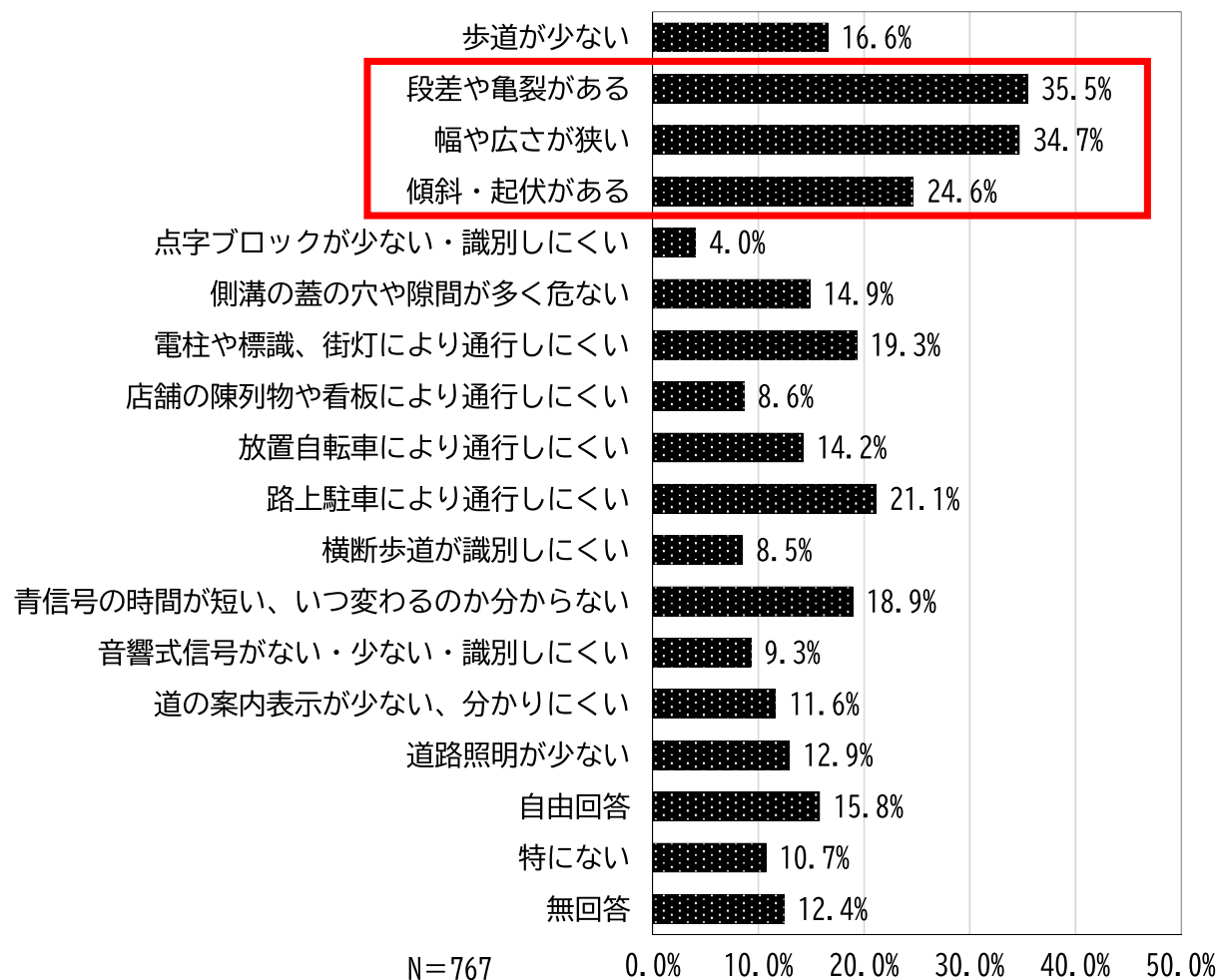
問4【鉄道・モノレール駅に関する困りごと・気づき】



鉄道・モノレール駅に関するお困りごとは「駅員の人数が減少しているため呼んでも対応に時間がかかる」が最も多く、次いで「エレベーターがない・少ない・小さい・使いにくい」、「ホームドアが無く危険を感じる」が多くなっています。

外出する際のお困りごとについて

問4【道路に関する困りごと・気づき】



道路に関するお困りごとは「段差や亀裂がある」が最も多く、次いで「幅や広さが狭い」、「傾斜・起伏がある」が多くなっています。

外出する際のお困りごとについて

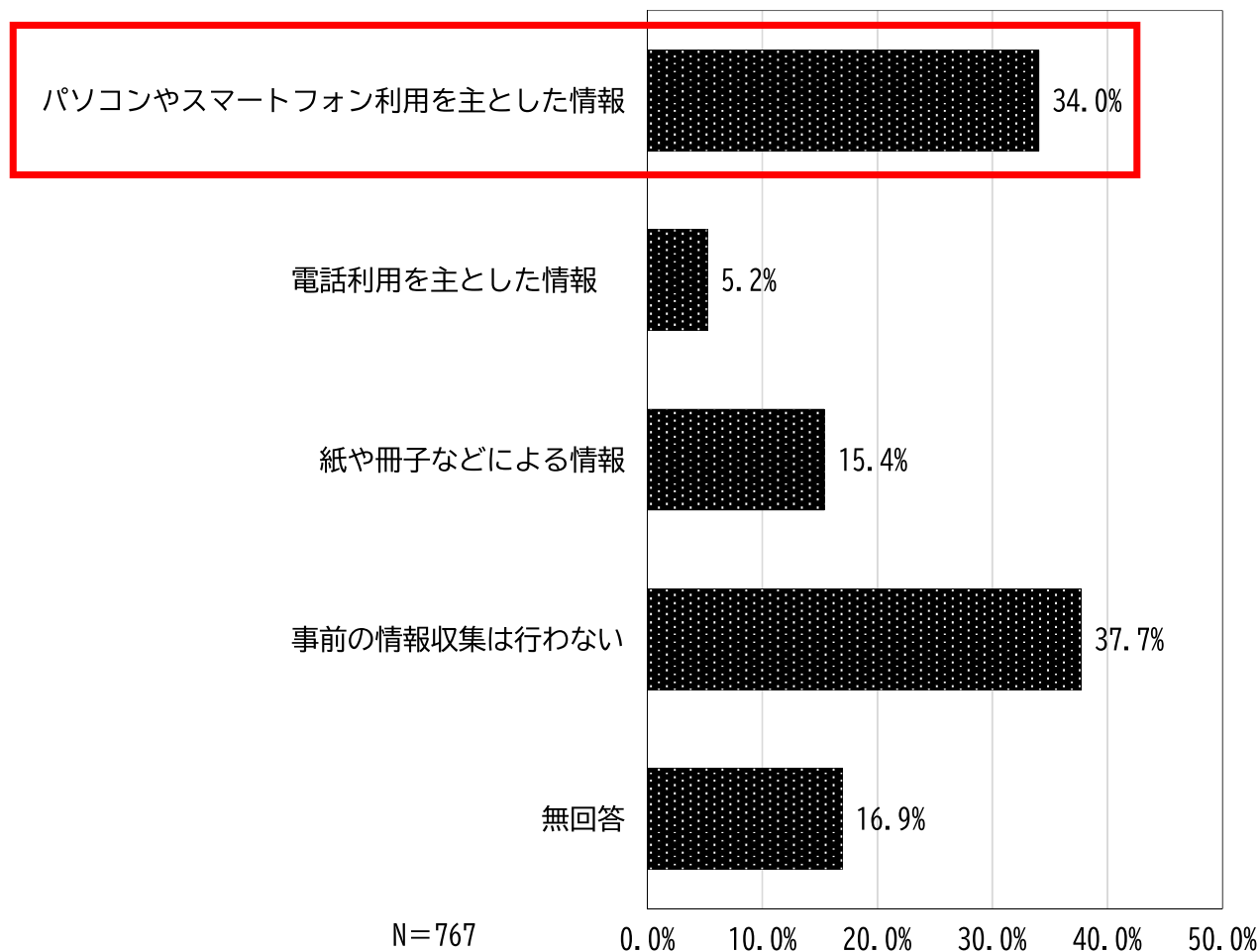
問4【その他の公園、施設、バス停等に関する困りごと・気づき（自由回答の要旨）】

区分	主な意見内容
鉄道駅・モノレール	・エレベーター、エスカレーターの設置 （バリアフリー経路が遠回り等） ・バリアフリースイレの設置、改善 （大型介助ベッド設置等） ・プラットホームの改善 （可動式ホーム柵、ホームと車両の隙間改善） ・休憩場所（ベンチ）の設置 ・駅の無人化に関する意見 等
道路	・歩道環境の改善 （幅員、段差、側溝、横断歩道のたまり場） ・支障物の撤去 （電柱、沿道店舗のごみ箱、雑草・樹木の剪定） ・休憩場所（ベンチ）の設置 ・信号機の設置、青信号時間の改善 ・自転車等の走行マナー ・踏切の点字舗装 ・駅前広場への障がい者用乗降スペース確保

区分	主な意見内容
バス・バス停	・バス停へのベンチ、上屋設置 ・バスの運転、その他運転手対応に関する意見 ・運行状況に関する意見（便を増やしてほしい等）等
公園	・出入口の改善 （ベビーカー・車いすが通れるように） ・園路の改善（舗装、傾斜、段差等） ・遊具、トイレ等の設置、改善 ・利用マナーに関する意見 （自転車走行、ごみ、喫煙等） ・雑草、樹木等の選定 等
施設	・既存施設のバリアフリー化要望 （学校・避難所へのエレベーター設置等） ・施設の窓口におけるバリアフリー対応（手話等） ・障がい者用の駐車スペース確保 ・小規模店舗等における通路幅 等

バリアフリー情報の収集・発信について

問5【バリアフリー情報の収集方法】

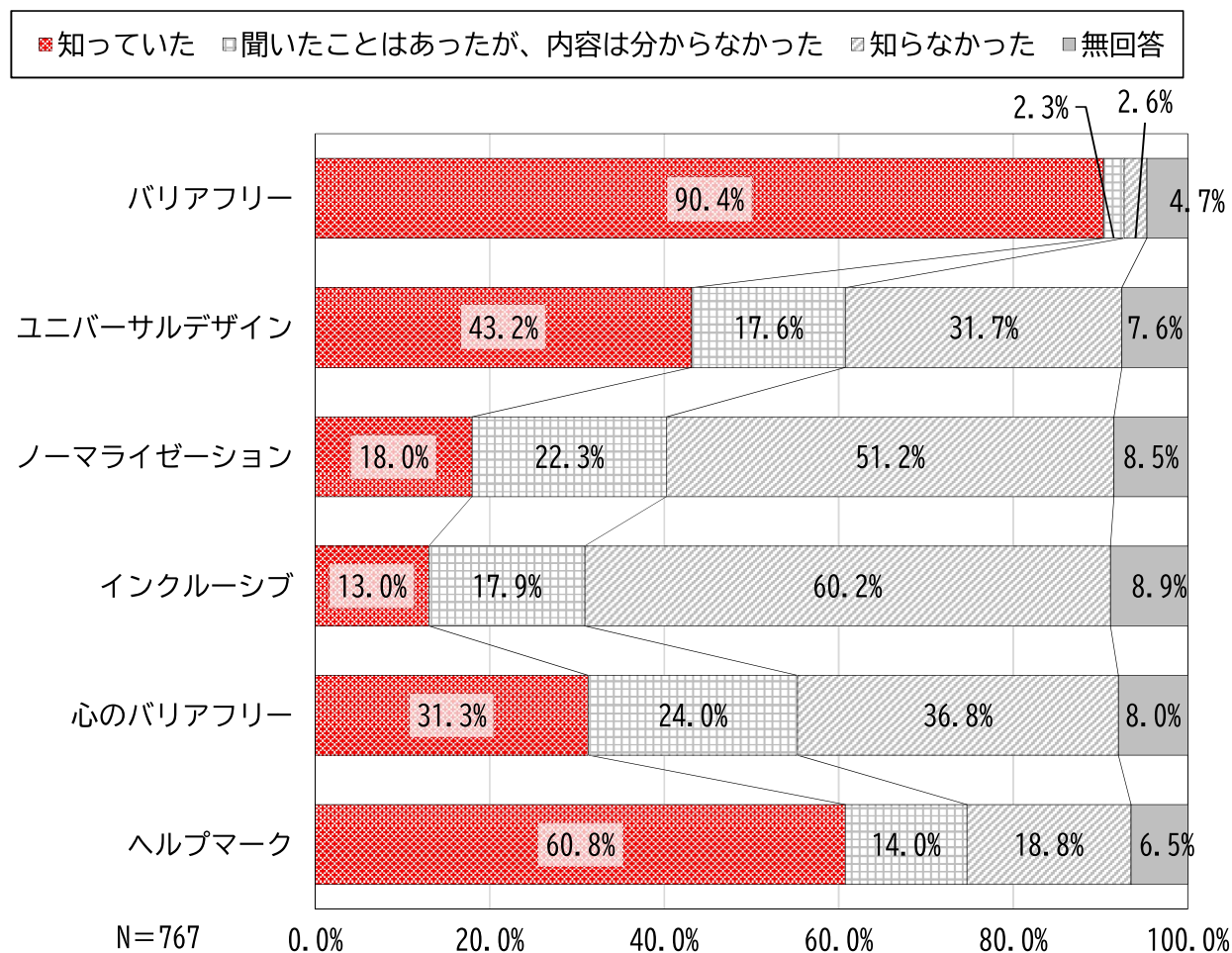


バリアフリー情報の収集方法は「パソコンやスマートフォン利用を主とした情報」が最も多くなっています。

※障がい者手帳を所持する方のみの集計においても、同様の傾向が見られました。（事前の情報収集は行わないの割合は低下します。）

心のバリアフリーについて

問6【バリアフリーに関する用語の認知度】

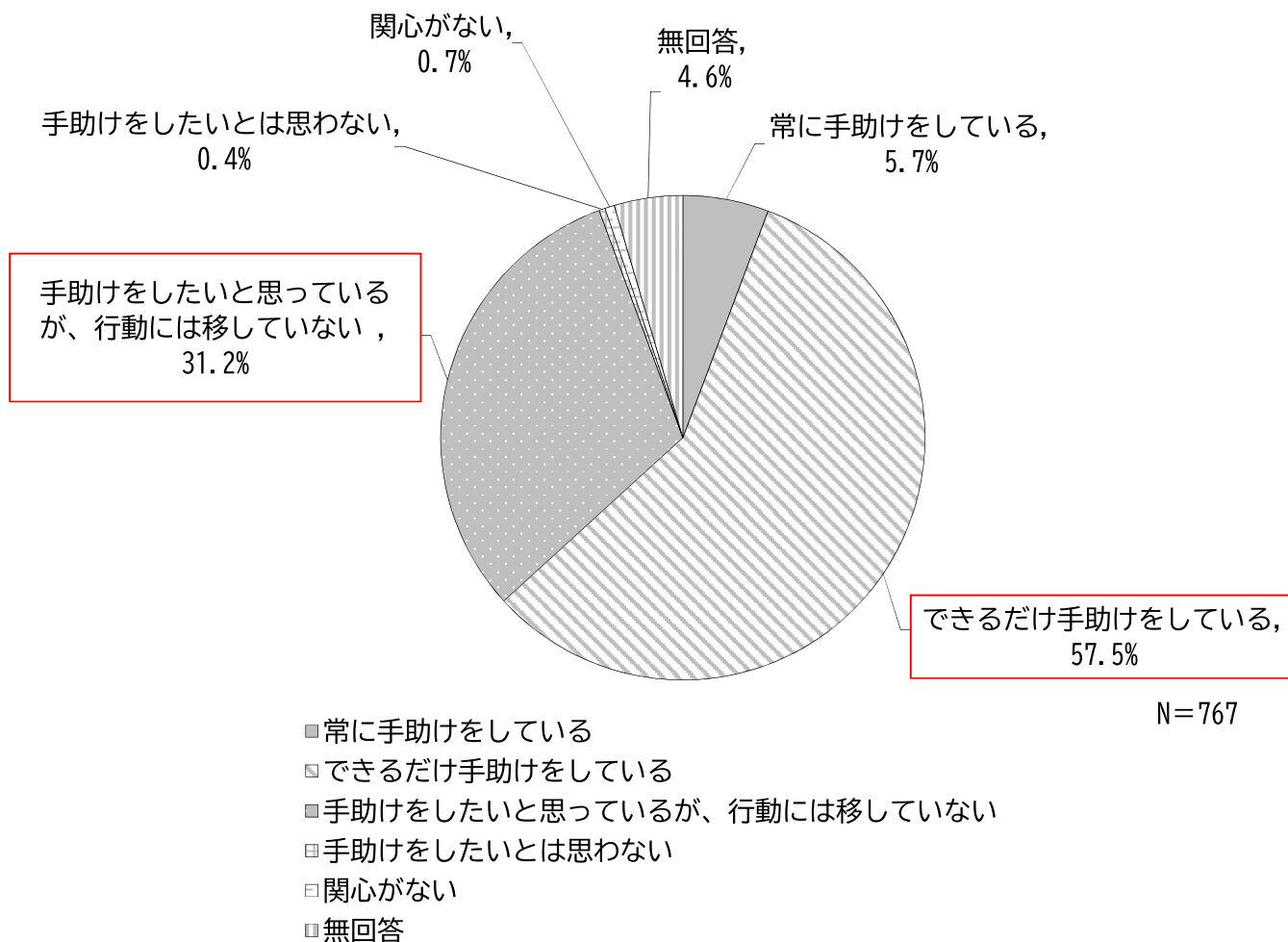


バリアフリーに関する用語の認知度は、「インクルーシブ」が最も低く、次いで「ノーマライゼーション」、「心のバリアフリー」が低くなっています。

※障がい者手帳を所持する方のみの集計においても、同様の傾向が見られました。

心のバリアフリーについて

問7【困っている方を見かけた時の行動】

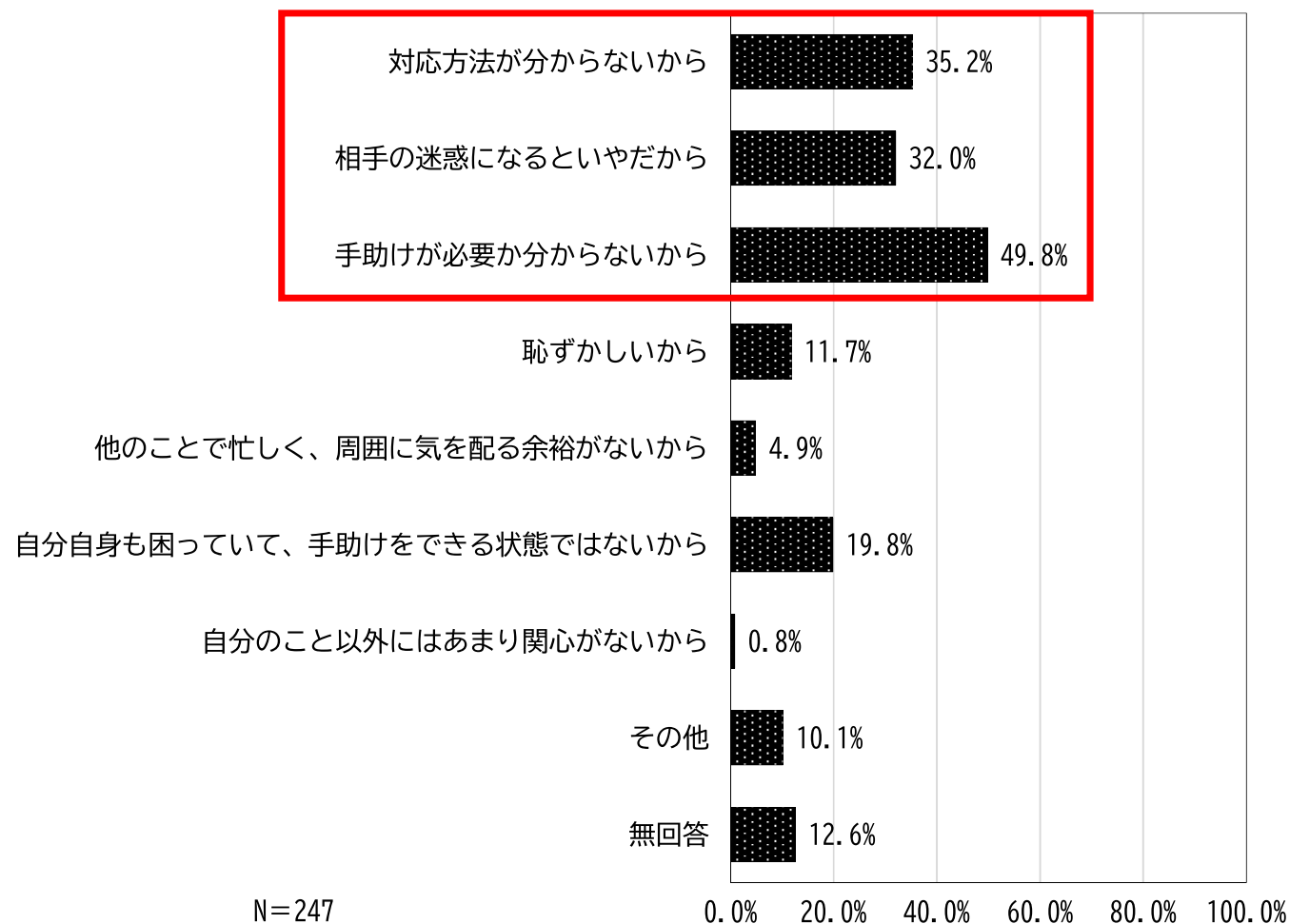


困っている方を見かけた時の行動は、
「できるだけ手助けしている」が最も多く、次いで「手助けしたいと思っているが、行動には移していない」が多くなっています。

※健常者と考えられる人（回答者の状況でいずれにも当てはまらない人）のみの集計においても、同様の傾向が見られました。

心のバリアフリーについて

問8 【困っている方を見かけた時に手助けしない理由】

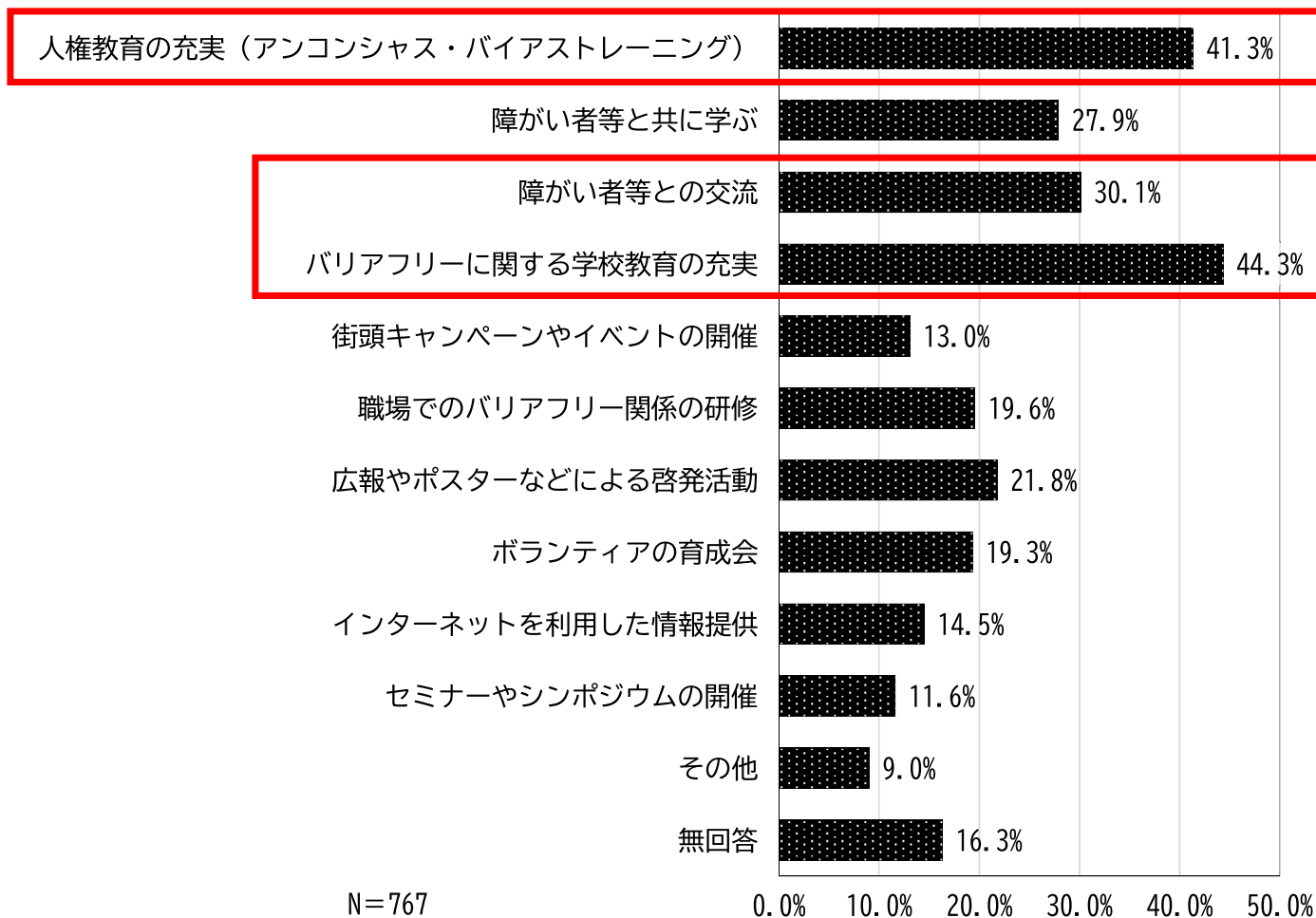


困っている方を見かけた時に手助けしない理由は、「手助けが必要ないか分からないから」が最も多く、次いで「対応方法が分からないから」、「相手の迷惑になるといやだから」が多くなっています。

※健常者と考えられる人（回答者の状況でいずれにも当てはまらない人）のみの集計においても、同様の傾向が見られました。

心のバリアフリーについて

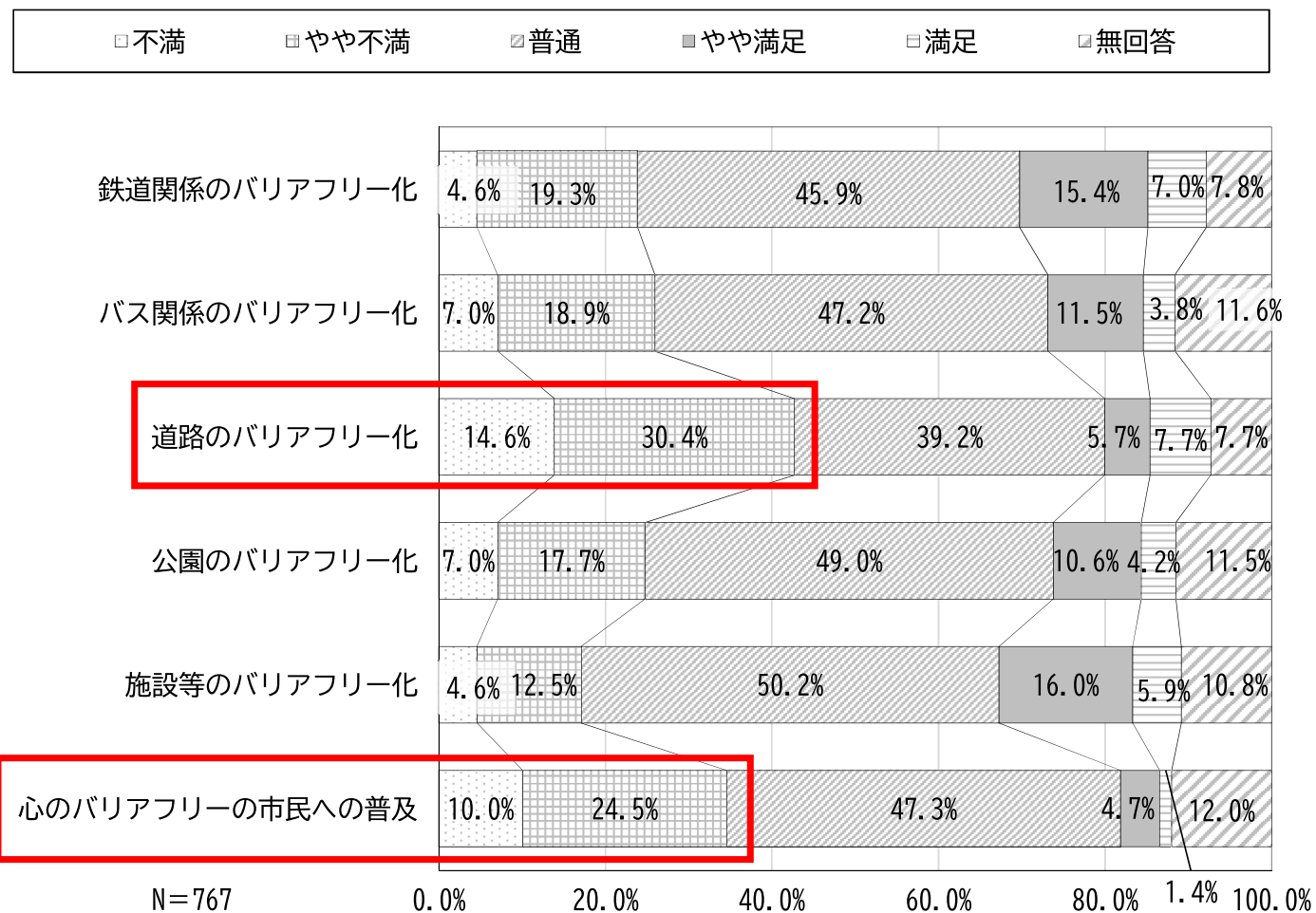
問9【心のバリアフリーの推進に必要なと思う取組】



心のバリアフリーの推進に必要なと思う取り組みは、「バリアフリーに関する学校教育の充実」が最も多く、次いで「人権教育の充実」、「障がい者との交流」が多くなっています。

バリアフリー化の進捗・推進について

問10【バリアフリー状況の満足度】



不満、やや不満と答えた割合は、
「道路のバリアフリー化」が最も多
く、次いで「心のバリアフリー化」
が多くなっています。

バリアフリー化の進捗・推進について

問11【バリアフリー施策に関するご意見、ご提案（自由回答の要旨）】

区分	主な意見内容
施設・ 経路整備	・ 歩車分離（歩道設置）、歩道の改善 ・ 既存施設のバリアフリー化 等
交通機関・ 手段	・ 介護タクシーの充実 ・ 公共交通の充実
教育啓発	・ 子どもたちへのバリアフリー教育の推進 ・ 市職員への教育（手話等） ・ ボランティアの育成 ・ 施設等の利用マナーの啓発、ポスター掲示、デジタルサイネージ ・ だれも見ると、出会う方法での啓発（市報すいた、地域回覧板等） ・ バリアフリー化の経過、結果を市民へ広報 等

区分	主な意見内容
調査・検討 段階における 対応	・ 徹底した現地調査 ・ 市民、当事者への意見聴取 ・ 施設改善に向けた管理者と地域住民等のコミュニケーションの場の設置 ・ 事業者との連携 等
その他	・ 障がい者差別解消に向けた取り組みの推進 ・ カタカナ用語をわかりやすく ・ 危険箇所や要望の通報及び対応窓口を一元化 ・ 要望への対応状況を返信してほしい